片桐英数塾通信

全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL　24-1337
FAX　82-6185
天神教室
TEL　23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

「幸せ」ってなんだろう？

Follow your heart and intuition!
心と直観、内なる自分の声に従え！

そこに行けばどんな人も幸せになれるという……。そこに行けさえすれば、どんな人でも争いのない、不安を感じることもない、悩みもない、一生、豊かな生活を送ることができる。そんな夢のような国があるとします。ただし、そこに行くためには幾多の試練を乗り越えなければなりません。一生の幸せを手に入れることができるのだから、それくらい当然です。途中で傷つくこともあるかもしれません。しかし、それさえ乗り越えることができれば、永遠の幸せが保障されます。

さて、そんな夢のような国があるとすれば、行きたいですか？　ちなみにわたし自身、「自分なら?」と考えてみると、一生、幸せに暮らせるのなら、行けるものなら行きたいようにも思います。もちろん、その試練の度合いにもよりますが。

最近、ふと「幸せ」とは何だろう?と考えていました。また、えらく大きなテーマを考えたものだな、と我ながらあきれてしまいます。自分の思う「幸せ」って何だ?と考えてみてください。「幸せは幸せでしょ?」と言う人もいるかもしれませんが、意外と「幸せ」を定義するのって難しくはありませんか？「幸せ」とは人それぞれでちがっていると思いますし、時代によってもちがっているし、時代によってもちがっているなら、「これが幸せだ」と断定できるものではないのではないかと思います。

たとえば、時をまたぎ、バブル経済の真っただ中の三十年くらい前の昔の中高生と、今の中高生に「幸せって何？」とたずねたとします。たぶん昔の人たちと今の人たちとでは、返ってくる返事がちがっているように思います。バブル経済の頃の日本は、何と言っても経済の調子が良くて、しかも日本特有の「終身雇用」「年功序列」もあり、良い会社に入れば給料も良いし、会社に入れさえすれば退職まで安泰だし、給料だって、年齢とともにほぼ自動的に昇給していくもので、「とにかく良いところに入ろう」という考え方が多かったと思います。「良い会社に入るためには良い大学を出なくっちゃ」、というような図式になっていて、その時代の中高生に、もし「あなたの幸せは?」とたずねたとすると、「良いところ(名前の通っているところ、偏差値などの数値の高いところ)に進学すること」というような返事が多く得られたかな、と思います。もちろんみんながみんなというわけではないのですが、その時代の中高生の描く「幸せ」とは、「これが幸せだ」というような社会に漠然とある「幸せの形」に従って考えられていたように思います。

一方で今の人たちに「幸せは何？」とたずねてみるとどんな返事が多いのだろう、と考えてみます。当塾では入塾の際に面談をしています。その面談の中で、「将来の夢は？」と聞くことがあります。ここ七年くらいで特に多いのが「将来の生活の安定」という返事です。この言葉を聞き、「昔は形的なものに幸せを求めていたけど、今は心の平穏に幸せを求めるようになってきているのかな」と考えています。もちろん、どちらが良くてどちらが悪いというわけではなく、わたしは、ただ、時代の変化や、「幸せ」の形の変化に驚いています。

こうやって考えていますと、ますます「幸せって何なんだ?」と考えるようになってしまい、冒頭の「幸せの国」などという空想の世界に入り込んでしまったという次第でございます。

さて、ついに幾多の艱難辛苦(かんなんしんく)を乗り越えて、「幸せの国」の住人になれたとします。そこは争いもなく、不安を感じることもなく、豊かな生活が送れる「夢の国」です。苦労の末に心の幸せを得ることができ、さぞや「幸せ」を感じることでしょう。しかし、本当に、そこにあるのは本当の「幸せ」なのでしょうか?

「幸せの国」とは言え「国」ですので、人と人とが集まって生活をしています。人と人とが集まると何かしらのいさかいが起きてしまうのが人の世の常です。もしも仮に、「幸せの国」の人たちの間で「施し(恵み与える)」ことがブームになったとします。しかし、「幸せの国」にいるのはみんな「幸せ」な人たちばかり。そんな人たちばかりなのでなかなか施せる相手が見つかりません。それでもちょっとでも「不幸」そうな人を見つけ出し、その「不幸」そうな人に競い合うように施こそうとする。結局、「施し」の競争が生まれてしまう。「俺は今月はいくら施したぞ!」「わたしなんて今日は一日でいくら施せたのよ!」などと言い争いが起きないとも限らない。何より「不幸」そうに見られた人たちに失礼だ。こうやって考えていて、わたしの頭の中では、「結局幸せの国でも争いは起きそうだな」となってしまい、「幸せの国」でも完ぺきな「幸せ」はないという結論に至ってしまいました。

いろいろと考えるのですが、結局、「幸せ」は「なろう」とするものというより、自分が満足、充実のできることに対して、力いっぱい頑張っていて、ふと振り返った時に「幸せだなぁ」と感じるのが本当の「幸せ」ではなかろうか、と思います。自分が頑張っていて「幸せ」だと感じられれば、それが最高の「幸せ」ではなかろうかと……。特に、自分の夢に向かって、自分を励ましながら頑張って、とうとうついに夢を叶えることができたなら、夢の叶った瞬間の「幸せ」は、人生のクライマックスといっていいほど、とても大きいものになるのだろうと思います。

しかし、夢が叶う瞬間までは、自分の純粋な心に突き動かされて、ただひたすらに夢だけを目指して走り続けていたのに、いざ夢が叶い、大きな成功を手に入れてしまうと、その成功は自分の外側に出てしまいます。たとえば、成功を聞きつけた人が集まって来て、その成功を褒めてくれる、持ち上げてくれる。ちょっと話を聞かせてほしいなどと言って。それは、成功までの苦労を考えると、神様がくれたご褒美と考えても良いとは思います。ですが、わたしがこれまで中高生を見てきた中で思うことは、大きな成功をおさめ、たたえられ、祭り上げられた人は、一つの成功体験に束縛されてしまい、なかなか次の目標に向かって走ることができなくなり、次の「幸せ」へと向かうことが難しくなる、というのがよくあるように思います。成功が次の「幸せ」を妨げているのではないか？　こんなことを思ってしまい、自分の内側にある心に従って走り続けることが、「幸せ」であり続けるためにとても重要なことではないかと考えるに至っています。

時代とともに、考え方、価値観、さまざまなものが変わってきています。さっき書いた「終身雇用」「年功序列」も、時代とともに淘汰されるべきシステムと見なされて、改革され始めています。世の中の形が激変しています。こんな時代にこそ、自分の心に忠実に、自分の心に突き動かされて頑張ることが大切なのではないかと思います。それが「幸せ」の入り口だと思います。

最後に、わたしが好きなスティーブ・ジョブズのスタンフォード大学でのスピーチの一部ですが載せておきます。

Your time is limited, so don't waste it living someone else's life. Don't be trapped by dogma, which is living with the results of other people's thinking. Don't let the noise of others' opinions drown out your own inner voice, and most important, have the courage to follow your heart and intuition. They somehow already know what you truly want to become. Everything else is secondary.

みなさんの時間は限られていますから、他人の人生を生きて時間を無駄にしてはいけません。ドグマにとらわれないでください。それでは、他の人たちの思考の結果に従って生きることになります。他人の意見という雑音によって自分の内なる声がかき消されてしまわないようにしてください。そして、もっとも重要なことですが、自分の心と直観に従う勇気を持ってください。あなたの心と直観は、あなたが本当は何になりたいのかを、どうしてだかすでに知っているのです。他のことはすべて二の次です。

小６生募集中　新中１準備講座１１月スタート!!

小６生の皆さん、お待たせしました！１１月から小６生を対象に新中１準備講座が開講します。この講座では、中学校で習う内容を先取りするだけでなく将来伸びる為に必要となる土台作り、学習習慣づくりもサポート。わからなくてもすぐにあきらめないで、じっくり考えるタフな思考力を楽しみながら身につけていきましょう。計算王決定戦、クイズ王決定戦へのエントリーもお待ちしております。

英語

小学生で英語が始まり、ちょっとした英語をしゃべったり聞いたりすることには慣れてきているころかな？　中学生になると読んだり書いたりすることも大事になってきます。読んだり書いたり、文字で理解することを目指す講座です。

算数・数学

クイズやパズルなども利用して「考える」ことを楽しみながら学習していきます。中学数学においても重要な「割合」「速さ」「図形」に関する問題など、小学校で習っている算数を総復習！さらなる計算力の向上も目指しながら確かな力をつけていきます！中１で学習する単元の先取り学習も行います。

国語

「文を読む力」「文を書く力」は、どの教科にも必要な大切な力です。国語の力を伸ばすことは、簡単に短期間で出来ることではありません。本を読んだり、作文を書いたりするなど、普段から意識して毎日の学習に取り入れましょう。この講座では、主に、文章を読んで考える記述問題に取り組み、読解力をつけていきます。

教　科：英語、算数・数学、国語
月　謝：７，７００円（税込）　他講座と同時受講の場合は割引があります
開講日：土曜日１６時半～１８時半（ｸﾗﾌﾞ活動などで都合がつかない場合はご相談ください）

片桐英数塾からのお知らせ

塾スタッフ募集中！

天神教室・坂本教室の11月のお休みは、
10月31日(土)11月 1日(日)、8(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日)です。
休日は自習開放もしておりませんのでご注意ください。

HP ｱﾄﾞﾚｽ http://www.katagirijuku.com

Copyright © 片桐英数塾. All Rights Reserved.